

平成 29 年度支援センター一部活動状況

1 活動状況 (H30. 3. 19 現在)

(1) 相談等の件数 (校内及び校外) () は昨年度同時期の件数

相談等件数 内訳					総件数
幼・保	小学校	中学校	高等学校	その他	
27 (11)	37 (27)	12 (8)	40 (15)	60 (69)	176 (130)

※相談の形態件数 → 訪問149、来校26、電話1、その他0

ア 相談内容

幼保は件数が増えているが、小・中はほぼ例年並で、いずれも困り感を持った園児、児童生徒への指導・支援についての相談。高校は、知能検査の依頼、授業改善や SST の取り組みについての相談支援が多かった。

イ 校内支援

22件

困り感を持った本校児童生徒の支援の検討や情報共有を目的として、支援会議を行った。難しい対応を検討するケースが増えている。

(2) 継続訪問支援

昨年度に引き続き、「特別支援学校継続型訪問支援」を実施し、地域の7校・園について継続型支援を行った。

(稲瀬小学校、広瀬小学校、黒石小学校、永岡小学校、水沢中学校、岩谷堂小学校、前沢東幼稚園)

(3) 巡回訪問

- 奥州市：市自立支援協議会療育部会の巡回相談のメンバーとして高校訪問を実施。
- 金ヶ崎町：教育委員会からの依頼で関係機関と一緒に幼・保を中心に巡回訪問を実施した。

(4) 開かれた学校作りー学校へ行こう週間

「学校へ行こう週間」(6/20~6/23に実施)

来校者数延べ262名(昨年度は225名)

来場者のアンケートより

- ・「授業内容や生徒の様子を知ることができて良かった。」
- ・「寄宿舎の仕組み、施設がわかって良かった。」
- ・「いつも貴重な時間となっている」
- ・「一人一人にきめ細やかな指導がなされていると思った。」 等

(5) 研修会企画

・発達障がい等研修会を夏期休業中に行い104名の参加があった。

(圏域の幼・保、小、中、高校から59名と本校職員45名)

内容は、元小学校教諭 熊本葉一氏による 発達障がいがある子供へのかかわり方についての講演。

・中部・県南地区特別支援教育コーディネーター研修会(県教育委員会主催)

(圏域の小学校・中学校のコーディネーター研修と県立療育センター長葭氏による講義)

(6) ボランティア活用

特別支援教育ボランティアバンク登録者の中から、7名の方に小学部と中学部のプール学習の補助

のボランティアとして活動していただいた。暑い中、児童生徒とプール学習を通じてふれあうことができた。

(7) その他の連携

・就学支援専門委員会委員（前沢・衣川区、胆沢区、江刺区、水沢区、金ヶ崎町）

2 平成29年度交流及び共同学習実施状況

「いわて特別支援教育推進プラン」に基づき、特別支援学校に在籍する児童生徒とその居住地にある小、中学校との交流及び共同学習を推進するため実施した。（各校1～3回）

<実施した児童・生徒数39名（昨年度35名）>

●金ヶ崎小学校、西小学校、岩谷堂小学校、人首小学校、稲瀬小学校、水沢小学校、水沢南小学校、常磐小学校、姉体小学校、長島小学校、千厩清田小学校、猿沢小学校、平泉小学校、前沢小学校

●金ヶ崎中学校、水沢南中学校、東水沢中学校、平泉中学校、江刺第一中学校、胆沢中学校、前沢中学校

3 まとめ

- (1) 地域の関係機関との連携を図りながら、今年度も支援を進めてきた。今後も要請に応じて引き続き対応したい。
- (2) 幼・保から小・中学校、そして高等学校と途切れのない支援ができるように、各関係機関とも連携を深めていきたい。